

# 第8回 放射線による非破壊評価シンポジウム

主催：(株)日本非破壊検査協会 放射線部門

休憩 (14:40~14:50)

協賛：(公社)精密工学会、(公社)計測自動制御学会、(社)溶接学会  
(社)資源・素材学会、(社)日本鉄鋼協会、(社)日本放射学会  
(社)日本溶接協会、(財)大阪科学技術センター、(社)高分子学会  
(財)ファインセラミックスセンター、(社)腐食防食協会、(公社)化学工学会  
(財)建材試験センター、(財)日本科学技術連盟、(社)軽金属学会  
(財)電子科学研究所、(社)日本建築学会、(社)日本鋼構造協会  
(財)建築保全センター、(社)日本食品機械工業会、(社)日本ボイラー協会  
(社)日本機械学会、(社)日本材料学会、(社)日本金属学会  
(社)日本非破壊検査工業会、日本科学機器団体連合会  
(社)日本合成樹脂技術協会、(社)日本品質管理学会  
(公社)日本航空技術協会、(社)日本プラントメンテナンス協会  
(財)日本溶接技術センター、(公社)日本カスタービング学会  
(公社)日本鉄筋継手協会、(社)配管技術研究協会  
(社)日本航空宇宙学会、(社)日本高圧力技術協会 (依頼中)

2. 放射線画像技術の開発と利用 (14:50~16:50)

座長 川端祐司 (京都大学原子炉実験所)

2-1 ラジオグラフィ用カメラの耐放射線の実験的評価

東京都市大学 ○舟岡宏樹、秋葉和宏、持木幸一  
(株)アド・サイエンス 小峰利夫

パイオニア(株) 渡辺 温、針谷真人

2-2 サイドバイサイド法による動態立体透視の開発

東京都市大学 ○秋葉和宏、原田新也、持木幸一

2-3 IP の長時間露光の検討

大阪府立大学 ○谷口良一、奥田修一、小嶋崇夫

2-4 IP と微弱電子線を用いた電子線ラジオグラフィ

大阪府立大学 ○下邨広元、奥田修一  
谷口良一、小嶋崇夫

期 日：平成24年 2月 9日 (木) 12:30~17:40

2月10日 (金) 10:00~15:10

休憩 (16:50~17:00)

会場：東京ファッションタウン(TFT)ビル 研修室 908 室  
東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階  
TEL 03-5530-5010  
(次頁案内図参照)

特別講演 (17:00~17:40)

座長 藤岡和俊 (助発電設備技術検査協会)

「非破壊試験技術者のISO 9712における国際対応とJIS Z 2305  
の資格・認証について」

(社)日本非破壊検査協会 ISO 9712 整合化タスクフォース  
主査 大岡紀一

懇親会

(18:00~20:00)

参加費： (※論文 集1冊を 含む)	放射線部門登録団体会員	無 料
	放射線部門登録個人会員	
	座長・登壇者	
	学生会員	
	放射線部門以外の当協会正会員 (協賛学会も含む)	¥3,000
一般	¥5,000	

\*参加費は、当日受付にてお支払い下さい。

懇親会：平成24年 2月 9日 (木) 18:00~20:00

\*会費：3,000円は、当日受付にてお支払い下さい。

問合せ：(株)日本非破壊検査協会 放射線シンポジウム係

TEL 03-5821-5105 FAX 03-3863-6524

Email: oka@jsndi.or.jp

## プログラム

発表時間 一般： 講演25分 質疑5分

第1日 2月9日 (木) 12:30~17:40

開会挨拶 (12:30~12:40)

放射線部門主査 藤岡和俊 (助発電設備技術検査協会)

1. 中性子ラジオグラフィの利用 (12:40~14:40)

座長 谷口良一 (大阪府立大学)

1-1 中性子ラジオグラフィの産業利用促進と中性子利用技術移  
転推進プログラム

(独)日本原子力研究開発機構 ○松林政仁、飯倉 寛  
野島健大、安田 良、酒井卓郎

1-2 中性子ラジオグラフィによるコンクリートの骨材・ペースト  
体積比率を考慮した水分定量化手法に関する研究

東京大学 ○土屋直子、野口貴文  
東京理科大学 兼松 寛

(独)日本原子力研究開発機構 飯倉 寛

1-3 京大炉(KUR)における中性子イメージング研究の現状

京都大学原子炉実験所 ○川端祐司、斉藤泰司

1-4 重心積算法によるラジオグラフィの開発

東京都市大学 ○柏木千明、秋葉和宏  
舟岡宏樹、持木幸一  
(株)IHI 野瀬裕之

第2日 2月10日 (金) 10:00~15:10

3. 放射線装置・放射線測定器 (10:00~12:00)

座長 加藤 潔 (日本X線検査(株))

3-1 測定値から見る放射線測定器の性能-第6報 比較的安価  
な放射線測定器の性能評価-

非破壊検査(株) ○藪下延樹

助電子科学研究所 辻本 忠

3-2 積層型電池検査装置 (角隅のX線透視画像から電極配置検  
査)

東芝ITコントロールシステム(株) ○篠原正治、  
宇山喜一郎、小島光法、杉井鶴代

3-3 ナノサイズターゲットを用いたX線管

浜松ホトニクス(株) ○石井淳、松下正興、須山本比呂  
高瀬欣治、藪下綾介

東京エレクトロン(株) 門沢克治

3-4 産業用高エネルギーX線CT装置の現状

(株)日立製作所 電力システム社 ○上村 博、佐藤克利  
(株)日立製作所 定岡紀行

昼休み (12:00~13:00)

4. デジタルRTの適用と規格化 (13:00~15:00)

座長 富澤雅美 (東芝ITコントロールシステム(株))

4-1 燃焼器の溶接部位に対するデジタルラジオグラフィの適用

三菱重工業(株) ○木屋敦詞、田中 亮  
MHI 原動機検査(株) 八木尚人、郡 佳伸

4-2 放射線透過試験関連のISO規格の進捗状況-デジタルラジ  
オグラフィ関連規格-

ISO/TC135・SC5 グループ ○加藤潔、稲見 隆  
柏 俊文、釜田敏光、窪田 聡

谷口良一、脇部康彦

ISO 委員会委員長 大岡紀一

4-3 ISO 16371-1 規格の紹介及び動向

ISO/TC135・SC5 グループ ○窪田 聡、加藤 潔  
稲見 隆、柏 俊文、釜田敏光

谷口良一、脇部康彦

ISO 委員会委員長 大岡紀一

4-4 ISO 17636-2 規格紹介と今後について

ISO/TC135・SC5 グループ ○脇部康彦、加藤 潔  
 稲見 隆、柏 俊文、釜田敏光  
 窪田 聡、谷口良一  
 ISO 委員会委員長 大岡紀一

(注) 座長及び講演日時は、変更される場合があります。

閉会挨拶

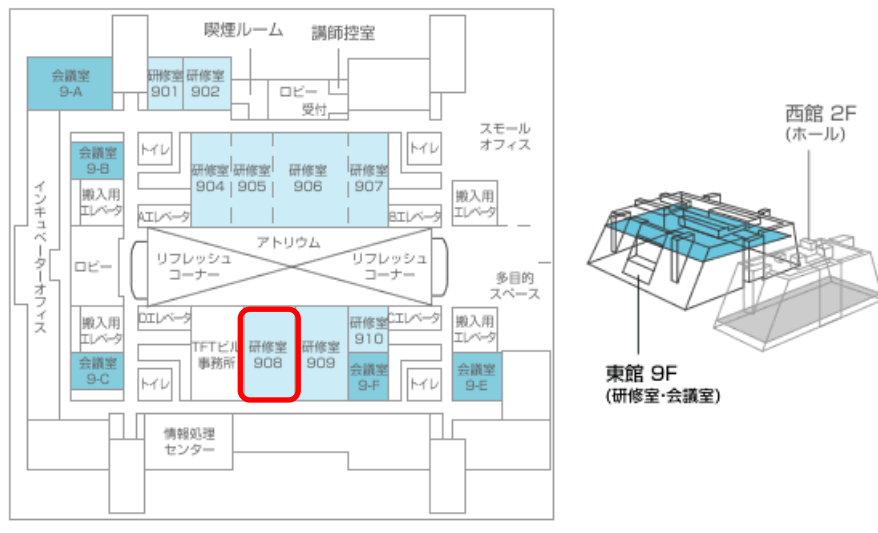
(15:00~15:10)

放射線シンポジウム実行委員長

## 【会場案内図】



### 東館9F 平面図



### 《アクセス》

#### りんかい線

国際展示場駅 (下車徒歩約 5 分)  
 大崎 (JR) ← 13 分 → 国際展示場 ← 5 分 → 新木場 (JR、東京メトロ)  
 ※大崎から新宿、大宮方面へ (JR埼京線相互直通運転)  
 渋谷 < 20 分 >、新宿 < 25 分 >、池袋 < 31 分 >、大宮 < 56 分 >  
 ※ < > 内は各駅から国際展示場までの所要時間

#### ゆりかもめ

国際展示場正門駅 (下車徒歩約 1 分)  
 新橋 (JR、東京メトロ、都営地下鉄) ← 22 分 → 国際展示場正門  
 豊洲 (東京メトロ) ← 8 分 → 国際展示場正門